



空襲後の那覇 手前左は天妃国民学校、その奥が上山国民学校

10・10空襲 ―那覇の壊滅(全市域の90%消失)―

1944年(昭和19)10月10日早朝、沖縄本島西の海上約280kmの地点に、米海軍第3艦隊所属の航空母艦・巡洋艦など100隻余りが到達した。午前5時45分艦載機グラマン戦闘機が那覇を目指して飛び立った。いわゆる10・10空襲の始まりである。

当日の那覇市は秋晴れの天気だった。市民は戦闘機の飛来に当初、今日の友軍(日本軍)の演習はすごい、実弾を使っている、と眺めていたようである。その後空襲警報が鳴り響き、空襲による煙が上がったのを見て、初めて敵機の来襲だと気付いたという。米軍の攻撃は、午前7時から午後5時過ぎまで5波にわたり、のべ1396機の艦載機が出撃した。第1波攻撃では、本島中部の北・中飛行場、本部港・伊江島などに続き、海軍小禄飛行場、第2波では那覇港と、

軍事拠点が攻撃された。第3波以降は市街が攻撃され、木造住宅を焼き尽くすために開発された焼夷弾が多量に投下された。当時の人口約6万、戸数約1万5千の本市の被害は、死者225人、負傷者358人、焼夷弾攻撃により全市域の90%近くが焼失した。

本市が標的となった10・10空襲は、米軍による住民を巻き込んだ無差別空襲であり、焼夷弾を実験的に使用した初めての空襲でもあった。那覇市民にとっては、尊い人命、家財を守れなかった日本軍に対し、失望感を募らせた空襲であった。

企画展「10・10空襲―那覇の壊滅―」は9月5日(火)から11月1日(水)まで、那覇市歴史博物館で開催中です。

歴史博物館
那覇の歴史・文化を体感!



これからの活躍に期待しています 那覇市青少年特別賞表彰

全国大会において、吹奏楽とテニス、陸上の大会で優秀な成績を修めた仲井真中学校的生徒4人が9月4日、翁長市長を表敬訪問し、そのうち、全日本ジュニアテニス選手権で優勝した金城充君は、那覇市青少年特別賞が贈られました。翁長市長は「すばらしい活躍ですね。支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れずに、がんばってください」と4人を激励しました。金城充君は「周りへの感謝の気持ちを忘れずにこれからも努力していきます」と力強く語っていました。

ニュース・ダイジェストNANA



温かいご支援に感謝します 支援者への感謝状贈呈式

首里島堀町5丁目の災害の支援者への感謝状贈呈式が9月4日に市役所で行われ、支援に尽力された25の企業・団体のみなさまに翁長市長から感謝状が贈られました。

贈呈式で翁長市長は、「被災された方々の生活状況は、想像以上に過酷なものであったが、みなさまからの温かいご支援が大きな希望を与えてくれました。市民の先頭に立って協力していただいたことに、被災された方々が変わりお礼申し上げます」と感謝の言葉を述べました。



青年団体の交流と地域おこしの場に 第14回なは青年祭

「那覇が唄う 那覇が踊る 青年達の島心」をテーマに第14回なは青年祭が、9月9日、10日の両日、とまりん横の泊緑地で開催され、市内で活動する青年団や子ども会などによる子どもエイサー、旗頭、太鼓演奏などが披露されました。とんぼが何匹も飛びかう秋の気配の中、家族連れなど最後まで多くの観客でにぎわいました。

また今回は、飲酒運転事故の多発を受け、祭りの中で飲酒運動追放大会も行われ、全員で飲酒運転の撲滅を誓いました。



大切な命を救うために迅速な処置を 平成18年度那覇市救急フェア

救急医療と救急業務に対する市民の理解と認識を深め、救急医療関係者の意識を高めることを目的に、「救急の日」の9月9日に、パレットくもじ前イベント広場で救急フェアが開催されました。

救命処置展示訓練では、今回、初めて参加した那覇看護専門学校と救急隊員らがユーモアを交えながら、緊急通報の手順や心肺蘇生法などを寸劇で披露。会場を訪れた人たちは、迅速かつ正確な処置の必要性を改めて確認しました。

うちなーんちゅフェスティバル in 琉球村

10/14(土) 15(日) 両日開催!!

会場：琉球村中央広場及び、特設会場にて (雨天決行の場合、会場変更あり)

琉球餅

沖縄の芸能が一堂に集う!!

出演団体
迎恩旗頭同好会 与那国同好会
その他多数参加予定!!
※事情により参加団体の変更などもございます。

●イベント料 (琉球村入料も含まれております。)

¥840 (18才~)
¥730 (高・学生)
¥420 (3才~15才)

特別割引! 沖縄県民の方はイベント料が2割引!!
世界のうちなーんちゅ大会IDカード持参の方入場無料!!

主催:琉球村 お問い合わせ 098-965-1234

10月11日(水)市民会館で日露交歓コンサート2006沖縄公演が開催されます。文化振興課 ☎855-5081